



静内ロータリークラブ会報

2015~2016年度 <会長>福田 義信 <幹事>土屋 祐喜
創立 1971年(昭和46年)6月28日

2016年(平成28年)3月30日 日本年度 第35回例会 通算2180回例会

≪ 前回例会記録 第34回(通算2179回) 2016年(平成28年)3月23日 ≫
会員数 68名 出席免除会員2名 出席 43名 欠席 23名 出席率65.1% 前回 修正91.3%

会長の時間



全国ロータリー親睦野球甲子園大会の静内クラブの日程は5月28日前夜祭、29日第2試合に決定しました。30日は山田(一)会員の案内で伊勢神宮など観光予定です。ご一緒頂き応援して頂きますようご案内申し上げます。今年度ご協力頂いた姉妹都市交流事業支援でロータリー枠を1名増枠してもらい農業高校生を派遣する事ができました。

本日は2012-2013年細川G年度のRI会長・田中作治さんが「青少年交換が平和を築く」と題して公式メッセージを発表していますのでご紹介します。初めての場所を訪れると初めての言葉・人々・慣習に出会います。私は行く先々でお会いする方から学ぼうと努め学べる事があるはずと信じています。このように考えるとロータリーの青少年プログラムの意味が理解できると思います。青少年交換は信頼や心の交流築き背景が違う人をひとつにする事ができます。自分と違う人が実は全く同じである事を学び世界中の人々と交流する喜びを感じるようになるでしょう。ロータリーの青少年交換プログラムは40年以上にわたり充実した活動継続し青少年奉仕の一部になっておりインターアクト・ローターアクト・ライラなどのプログラムがあります。

青少年を支援する事で平和な世界を築き新たな世界にロータリーを引き継ぐ事ができ国境を超えた理解の和が広がります。青少年交換は国と国との狭間の関係を育み平和な世界を築くロータリーの世界的使命の本質な要素を担っております。このように田中作治元RI会長は青少年交換が将来にわたり世界平和と青少年育成にいかにか重要かと述べております。

報 告

幹 事

- 日高中部青年会議所より創立15周年記念式典の案内が届いています。5月15日です。
- 静内ライオンズクラブより合同懇親会の案内がきております。4月14日(木)例会を天政で開催後エクリプスホテルへ移動して6時30分より懇親会開催予定です。

親睦委員会

【ニコニコBOX】

- 平野井会員；お孫さんの高校入学。
- 福田会長；家庭集会の初日に諸々諸事情あり欠席してしまいました。
- 土屋幹事；お嬢様(高校2年生)の新聞掲載。
- 大森会員；第54回卒園式無事終了。
- 細川会員；町の推奨品の認証式及びさくら大使募集の件での新聞掲載。
- 福嶋会員；新聞掲載。



在田親睦委員長



プログラム

会員卓話

杉田 清 会員 一般社団法人・北海道障がい者職親連合会 副会長

サポーターとしてお嬢様の(有)杉田産業 企画営業担当 筒田 凡枝様にもご出席頂きました。

「独りぼっちな働く障害者をなくすために」

日高中部障がい者職親会は昭和 60 年 4 月に旧静内町に知的障害者職親会を設立し昭和 63 年 10 月には山手町に小規模授産所開設、その後、平成に入り法人化なども進め運営主体を NPO 法人木の実福祉会に移し平成 27 年 4 月に新冠町 (有)杉田産業へ事務局を移転し現在に至っております。

この職親会は障害のある人が社会参加をする際には、どうしても障壁(差別)があります。誰もがお互いの人格や個性を尊重して支えあう「共生社会」実現のためには障害者への差別をなくす事が欠かせません。そのために障害者差別解消法が制定されました。職親会としては公共施設・飲食店・アパート等借りの場合などで差別を受けずに且つ充実したその人に合わせた就労を推進し健常者と障害者がともに共存しあえる社会作りを目指しています。職親会が掲げるノーマライゼーションについては知的障害や身体的障害あるいは高齢者にかかわらず、あらゆる人が共に住み健常者と障害者の障壁のない「普通」の生活を営む事です。当連合会へのご理解・ご協力お願い致します。杉田会員には時間をかけて詳しくスライド等駆使してご説明頂きました。



コラム 《クラブの仲間》

長浜 和也 会員

(株)白馬牧場代表取締役

昭和 49 年白馬牧場・場長として勤務の後、平成 23 年度にオーナーより譲り受けて現在 6 名の従業員とともに名馬生産のために日々奮闘しております。主な業務内容は軽種馬の生産・育成と種馬の預託です。現在は約 40 頭ほどとなっております。生産馬も中央・地方関わらず走っておりますがシンガポールのクランジ競馬場にも共有している馬が走っております。この競馬場は優勝した際、シャンパンでお祝いする特別ブースを備えているんですよ。当牧場での思い出深い馬はこのシンガポールで 9 勝を挙げ且つ重賞のシンガポールドービー 3 着の「ジェイド号」です。毎日、早朝から遅くの時間まで激務が続き体力勝負ですが、重賞奪取のためにこれからも頑張ります！



廣島 貴史 会員

(株)久保田組 常務取締役

昭和 30 年 7 月創業の当社は公共性の高い土木建築工事を通じて地域貢献を目指すと同時に近年、資源循環型社会形成進む中、苫小牧支店中心に「YM 菌」(超高温好気性細菌; 特許微生物)による有機性廃棄物の超高温好気性発酵技術確立し独占技術実施権持つ会社と技術提携して環境にやさしいクリーンな地域環境づくりのために有機性廃棄物処理事業にも力を注いでおります。具体的には一般家庭・産廃・事業系廃棄物を「YM 菌」等で処理し肥料等にして農地やゴルフ場など循環させる当社独自のリサイクルシステムです。これにより臭気低減及び高い堆肥効果が得られます。「未来に生きる我々の子孫の為に美しい故郷を残す」が当社の願いです。

